

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。</p>	<p>事業所の職員は、利用者の安全と尊厳を守り、利用者を中心として家族、地域の皆様と協力し、認知症があっても自分らしく地域で生きる事を支える「心と体にやさしい」グループホーム運営を目指す事を理念としている。</p>	○ 今後も地域住民、ご家族と協力し支えてゆきたい。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>管理者と職員は理念を共有し、実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	○ 今後も実践に向け取り組んでゆきたい。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ご家族には重要事項説明の中で、地域の方々には当所からのご案内に、その都度明記し理解をしてもらえよう取り組んでいる。</p>	○ 今後も理解を得る機会をもち、浸透させたい。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>雨の日の洗濯物の注意や、お花などの頂き物をしたり、見学会への参加がある。日常的な交流の中で、壁に窓を付ける改築等も快く受けて頂けた。隣家の緊急通報協力員登録もしている。</p>	○ 今後も日常的に交流していきたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>町内会に加入し、お地藏様の御水変え当番もした。疏水の掃除にも出来るだけ参加している。</p>	○ 今後も地域活動に参加し交流を続けたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> <p>運営推進会議が中心となり、当所で住民対象の「認知症サポート養成講座」を開催した。学区の養成講座にも協力している。</p>	○	白川学区地域ケア会議にも続けて参加したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> <p>前回の評価を活かし、具体的な改善に取り組んだ。</p>	○	今後も、自己評価外部評価を活かし改善に取り組みたい。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> <p>会議では、日常サービスの実際や取り組み報告を行い、意見を聞いている。ここでの意見を参考にして、今回の改築工事の範囲を広げ結果としてサービス向上に活かす事ができた。</p>	○	今後も運営推進会議での意見を重視していきたい。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> <p>今回の改築に当たり、市の担当者とも連絡を密にした。毎月の行政区事業者会議に参加し、また行事に要員参加もしている。</p>	○	今後も市区担当者との連携を続けサービスの向上に努めたい。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> <p>現在成年後見人制度を活用した利用者がおられ支援している。</p>	○	今後も必要に応じて支援していきたい。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p> <p>学び、事業所内やご家族からの虐待が見過ごされることがない様に注意を払い、防止に努めている。</p>	○	今後も学習を重ね、虐待防止に努めていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明で説明を行い、不安、疑問点を尋ね、また以後も その都度説明を行い、理解・納得を図っている。	○ 今後も十分な説明を行い、理解・納得を図りたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常的な関わりの中で機会を設け、それらを運営に反映させている。運営推進会議にも参加頂いている。	○ 今後も馴染みの関係を深め話しやすい雰囲気を作りたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、金銭管理報告とお手紙で健康状態や暮らしぶりの報告をしている。緊急時は電話などで報告や相談をさせて頂いている。	○ 今後ご家族、補助人との連絡を密に取り、安心して頂ける様にしたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱を設置している。重要事項説明書に行政の名称も記入しているが、直接あるいはお電話、お手紙などで職員に伝えていただき管理者が速やかに対応する様にしている。	○ 運営推進会議にも参加頂いているが、日常的に相談しやすい関係を構築し、共同して運営に参加して頂ける様にしたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、常勤者、全職員会議で意見を聞き運営に反映している。	○ 今後も職員が中心になって参加できる運営体制としたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	終末介護、緊急時対応など臨機応変に対応できる様、勤務調整を行っている。	○ 今後も必要に応じ勤務調整を行っていく。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	単独型施設なので、異動は無いが、馴染みの職員の離職を最小限に抑える努力をしている。	○ 今後も努力を続ける。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者や職員の育成の為に、計画的に研修を受講させてきた。</p>	<p>○</p> <p>今後も、法人内外の研修を受講させ力量をアップさせたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>京都府GH協議会に加盟し、活動に参加している。行政区内GHには相互訪問などを行い交流しサービスの質の向上を目指す取り組みにも参加している。</p>	<p>○</p> <p>今後も交流を深め、発表などを通じ質の向上を目指したい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>職員や管理者のストレス軽減の為に、外部研修や交流の機会を持てる様にし、役責者を3名にして複数で対応する様にしている。</p>	<p>○</p> <p>出来るだけストレスを軽減出来る様、全職員会議で相談しあえる雰囲気をつくりたい。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員個々の努力や実績、勤務状況の把握はしている。資格取得を含め、各自が向上心を持って働ける様に努めている。</p>	<p>○</p> <p>厳しい社会情勢の中で、個々の職員が希望を持ち向上心を育てられる様、支援に努めたい。</p>
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用までの間も、訪問などを行い、直接ご本人のお気持ちを聞くようにしている。</p>	<p>○</p> <p>今後も、できるだけ直接ご本人のお気持ちをお聞きする機会を設けたい。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>当所への申請時から相談を受ける機会をつくっている。ケアマネとの連携もと、具体的な要求の内容を受け止める努力をしている。</p>	<p>○</p> <p>今後も、ご家族のお気持ちをお聞きし、受け止める努力をしていきたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず必要とされている支援を見極め、担当ケアマネと連携しながら他のサービス利用も含めた対応に努めている。	○	今後も見極める力量をアップし、的確な利用に繋げたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人の安心の為に、ご家族とも相談しながら当所の職員や他ご利用者、場の雰囲気に徐々に馴染んで頂ける様工夫している。	○	ご利用者が安心され馴染める雰囲気を作りたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は毎日の暮らしの中で、ご利用者から学ぶことも多く、お互いに支えあう関係を築いている。	○	たとえ、寝たきりになられてもこの関係は続けていきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員はできるだけご本人の様子を伝え、ご家族と一緒にご本人を支えていけるよう努めている。	○	ご家族との関係を深める様、努力したい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	これまでの関係を理解し、より良い関係が築いていけるよう支援している。	○	ご家族に無理のない様、時間をかけてより良い関係が築いていける様に支援したい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や友人、近隣の方など馴染みの関係が途切れないよう、支援している。	○	馴染みの方が会いに来易い雰囲気や、行事などに組み会える機会を多く作りたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	家族的な雰囲気の中で、家事などの協力や、励まし合うなどお互いに支え合える場面を作るよう努めている。	○	利用者同士が自由に交流できるように支援している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ご利用者が特養入所された方や、亡くなられた方のご家族からもご連絡があり、交流が続いている。	○	今後もこのような関係が築けるような日常交流に努めたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人一人の思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者のご意向は、日々の暮らしの中でさり気なくお聞きしている。帰宅願望の強い方には、できるだけ当所での役割をお願いし、今後も助けて頂きたいと引き止める形になっている。	○	ご家族ともご相談できる関係を深めたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式に基づき、ケアマネやご家族、また直接ご本人にも教えて頂き、これまでの暮らしの把握に努めている。	○	今後も、把握に努めたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	医療機関との連携や、職員会議、日々の観察により、総合的に、心身状態を把握するように努めている。	○	日々の観察力を高め、医療機関やご家族との協力で総合的な心身状態の把握に努めたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者会議を開き、ご本人やご家族の希望を取り入れながら、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	○	ご家族には介護計画書作成の為のご意見としてお聞きできている方と、日常的な会話でお聞きできている方がある。全員に作成の為のご意見を求められる様にしたい。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のご家族へのお便りで、細かな対応についても報告しているが、その都度の計画書は変更していない。大きな変更の場合は原状に即した計画書を作成している。	○	今後も、現状に即した計画書の作成に努める。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個別に記録し、月ごとにもまとめ、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	○	今後も、介護計画の見直しに活かせる様、日々の記録や情報共有を行う。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	当所は単独型事業所である為、多機能性は無い。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	学区地域ケア会議に参加し情報を共有し、研修会の協力を行っている。地藏盆や神社の神輿行列の見物などの支援をしている。	○	今後、地域資源との協働についても検討したい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	介護保険認定更新手続き等、地域の他のケアマネとの連携をとっている。本人の意向や必要性に応じて、他のサービスを利用するための支援をしている。	○	今後も地域の他のケアマネとも連携をとり、必要に応じて他のサービス利用もできる支援をしていく。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	当所の運営推進会議に参加して頂いている。情報を共有し、お互いの学習会参加要請も行い、協働できている。	○	今後も、協働していきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は、緊急時の対応にも応じて下さり、事業所との信頼関係は築けている。ご家族の入院希望病院への入院支援を含め、適切な医療を受けられるように支援している。	○	今後も、ご本人、ご家族の意向に添える適切な医療を受けられる支援を続けたい。

グループホーム北白川

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症に詳しい医師と関係を築きながら、相談をしたり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	○	<p>今後も認知症の治療を受けられる様支援していく。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>地域の在宅療養支援診療所と訪問看護ステーション(契約)の看護職に気軽に相談でき、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	○	<p>今後も地域の看護職と相談し、日常の健康管理や医療活用を支援していきたい。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>利用者が安心して過ごせるよう、できるだけ早期退院にむけて、病院関係者と連携している。</p>	○	<p>今後も病状に併せながら、出来るだけ早期退院に向けて、病院関係者と連携していく。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方について、出来るだけ早めにご意向をお聞きし、かかりつけ医とも相談し、全員で方針を共有している。</p>	○	<p>ご本人やご家族のご意向は変更する事を前提に何度も話し合いを重ね、関係者と方針を共有していきたい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>かかりつけ医、個別訪問看護の利用、ご家族との連携で、これまで2名の看取りを行い、現在も重度な方がおられる。当所の力量を見極め、医療機関関係者とのチーム医療、介護に取り組んでいる。</p>	○	<p>今後もご本人、ご家族のご意向を確かめながら、事業所の力量を見極め、医療機関と連携し、チーム医療、介護に取り組みたい。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>改築工事にあたり、老人保健施設に転所して頂いたが、情報交換を十分に行い、面会も頻繁に行い、住み替えによるダメージを防ぐよう努めた。</p>	○	<p>今後も住み替えのダメージを防ぐ為、入退所の際の情報交換等を十分に行いたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ご利用者の誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の扱いはしていない。	○ 今後も不適切な対応、取り扱いはしない。
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	日常生活の中で、ご本人の思いや希望を表しやすい雰囲気を作り小さなことでも、出来るだけご本人で決められるように支援している。	○ 今後も、ご利用者が希望や決定が出来る雰囲気作りをし支援していきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを大切に、希望に添って支援している。	○ 今後も個性を大切に、その方の希望に添って支援したい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その人らしい身だしなみやおしゃれが出来る様支援している。ご家族が行きつけの美容院に誘われる事もあるが、移動美容院では、ご希望をお聞きするように努めている。	○ 今後もその日の服装を選んで頂くことや、髪型の希望などをお聞きしていきたい。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の能力や興味にあわせ、職員と一緒に調理準備や片付けなどに力を発揮して頂いている。	○ 今後も、出来るだけ少ない過程でも参加出来るように場面作りをしていきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	当所では火災防止の為に全館禁煙をお願いしている。その他の嗜好については献立作りの際に希望をお聞きし、毎朝と午前中の水分補給については一人一人飲み物の希望をお聞きしている。	○ ご家族からお預かりしている嗜好品はご希望の際にお出ししている。今後も毎週の生協カタログからのご希望をお聞きするなど出来るだけ、ご希望に添った支援をしたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人一人の排泄パターンを記録し、できるだけトイレやポータブルトイレを使用できるよう支援している。	○	今後も、ご本人の気持ちにあった時間に誘導し、トイレ使用が出来るように支援したい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員体制で一応入浴日は決めているが、当日のご気分や体調により、翌日に変更したりしている。10月から3月頃までは入浴日以外の就寝前に、足浴、クリームマッサージを行い、清潔保持と気持ち良さの支援をしている。	○	今後重症化された方にもビニール浴など居室での入浴も検討したい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝前の足浴(夏は清拭)で、ゆったりとした時間を持ち、安心して眠れるよう支援している。	○	今後も、夜間安心して眠れるよう支援したい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人の力の発揮できる役割や、楽しみごとを把握し、日常生活の中で傾聴や力添えのお礼を言うなど、張り合いの持てる暮らしの支援をしている。	○	ご利用者の思いで役割を担おうとされているので、それを受け入れ、日々の暮らしに張り合いを持って頂ける様支援したい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持されている利用者もおられるが、物盗られ妄想のある方や理解できない方もおられる。以前は買い物希望の方に支援していたが、現在ご希望無く、できていない。	○	今後は買い物支援なども再開したい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	改築によりデッキができ、重度の方が車椅子で安易に日光浴できるようになった。軽度の方の散歩も3人体制の日には行きやすくなった。	○	軽度な方の玄関掃除や花の水遣りなど外での家事、買い物散歩なども再開したい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別での外出、外泊はご家族の援助によって行っている。申し送りをし、安心して外出、外泊できるよう支援している。	○	今後もご家族との連携で外出、外泊の支援をしたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかける希望は無いが、受診の場合直接話せる様にしている。手紙では代筆する場合もある。	○	今後も、支援を続ける。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会は歓迎している。	○	今後も面会しやすい雰囲気づくりに努めたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は、認知症状を悪化させるだけだと理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	○	今後も身体拘束は行わない。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠せず、玄関もセンサー察知している。2階階段部分については危険防止の為、ご家族の了承を得て、様子が見えて声も聞こえるよう工夫した扉をつけている。	○	今後も居室を自由に行き来して頂ける空間作りに努めたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は常にご利用者の所在を把握し、安全に配慮している。	○	今後もご利用者の安全を守る為に職員同士の連携を保つ。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	調理器具などは、使用可能な方もおられるので、その方に見守りしながら使用して頂いている。薬品などは全員の目に触れない場所に保管している。	○	危険な状態になられる時の見極める力が職員に求められている。情報を共有し、今後も一人一人への対応をしていきたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止知識を共有し、一人一人の状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	○	今後も事故防止に取り組むたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>救急救命講習に参加した職員から伝達研修を受けている。急変時の利用者ごとの手順表を作成している。</p>	<p>○</p> <p>ご利用者の身体変化を見逃さず、日常的に観察記録、申し送りを行い、急変時にあわてず適切な対応ができるよう心がける。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が非難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>管理者は甲種防火管理者講習を受けた。年2回の防火訓練として一斉外出を行い、利用者のレベルを確認している。避難方法など具体的に相談し準備している。地域の人々とは日頃から話しており、お互いに協力していく関係にある。</p>	<p>○</p> <p>まず火災を発生させない事に重点を置き、毎日の防火に努める。不審者情報なども地域と共有し、センサー察知を含め、防火に努める。</p>
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>医療面では、主治医の説明を受けて頂き、事故や災害時の説明は入所時に行っている。リスクがあっても抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。</p>	<p>○</p> <p>今後も、リスクと対応策等をご家族と、その都度話し合っていきたい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎朝のバイタルチェックを含め、普段からの体調把握に努め、異変があれば、速やかにかかりつけ医に連絡し指示に従う。職員間で情報を共有し、重大な事態にはご家族への連絡を行う。</p>	<p>○</p> <p>今後も医療連携をとり、日常的な観察を続け早期発見に努める。</p>
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬剤師からの説明を受け、副作用の有無を確認し、服薬の支援と症状変化の確認に努めている。</p>	<p>○</p> <p>今後も一人一人の病状把握に努め適切な服薬の支援をしたい。</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>職員は便秘の及ぼす影響を理解しており、繊維を多く含んだ食材を選び、水分補給に努めている。また日中の運動や、トイレでの腹部マッサージなども行うなど、便秘を予防する工夫に取り組んでいる。</p>	<p>○</p> <p>今後も一人一人の体調に応じ、工夫を続けたい。</p>
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後義歯洗浄される方や、職員が行う方もおられる。また朝と就寝前の2回の方もおられる。気持ちの負担にならないように、見守りを行っている。歯科受診の必要な方には受診支援をしている。</p>	<p>○</p> <p>今後も口腔内の清潔保持の支援を行いたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人記録に食事量や水分補給量を記録している。時に応じてご利用者の好きな飲み物を摂って頂き、水分量を確保する事もある。	○	今後もご利用者の状態に応じて、ペースト状、刻み、普通食等食べやすくして、栄養補給、水分補給を行いたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症の予防や対応の取り決めが有り実行している。	○	今後も予防や対応の取り決め通り実行したい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は毎週生協からの配達で、消費期限順に使用している。調理用具や布巾は毎日消毒し洗濯。冷蔵庫も週1回消毒清掃している。食器拭きの前に、ご利用者の手も消毒している。	○	今後も安全な食生活のために新鮮な食材と調理器具等の衛生管理を行いたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	改築で道路に倒れかけていた木も伐採し、塀に変更した。花々を植えるスペースも増え、明るくなった。近隣者から花の鉢も預かっている。通路側にも出入り口を作ったことにより、車椅子のまま、道路に出る事ができるようになった。自転車も庭におけるようになった。	○	今後も地域の方々が気軽に訪問できるような明るい雰囲気を守っていきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	改築で事務室が奥に出た為、食堂としていた場所が、居間として活用できるようになった。東側の窓が使えるようになり、障子越しの光が差し込み、利用者が食後ゆったりと過ごせる空間が広がった。1階の2室は3室になったが、効率的に使用でき以前より広がった感がある。3室とも床暖房を設置した。	○	利用者の移動空間が広がったことで、職員の動きにも余裕がでてきた。今後も工夫をして居心地のいい場所を作りたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	小さな施設なりに、居室、食堂、居間、廊下コーナー、デッキと思い思いに過ごせる居場所の工夫をしている。	○	思い思いに過ごせる居場所作りの工夫を続けたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、ご本人の馴染みの物や、好みの物を活かして、ご本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	○	ご本人が自分の居室だと認識される状態を続けたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気に努め、温度調節は床暖房、エアコン、電気毛布などをこまめに切り替え、ご利用者の体調維持を図っている。	○	換気や温度調整などを今後もこまめに行いたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手すりを設置し、自立して移動できるように工夫している。また居室でもご利用者の状態に合わせ、家具の移動なども常時行い、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	○	今後も各ご利用者の力に合わせて手すり設置を行いたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人一人のわかる力を活かして、家事や物づくりに参加して頂いている。その中で自信を回復し混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	○	わかる力を活かし、わからなくなった事は少しずつサポートし、焦らずゆったりと暮らすことを支援したい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	デッキができた事により、洗濯物干しの作業に参加して頂けることになった。またその光景を重度の方が日常的に目にする事ができ穏やかな時間が共有できている。	○	裏庭の大木も伐採し、花を植え以前より居室への光が増えた。利用者は花の水遣い場所が増えたが、楽しい時間を増やしたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

職員の年齢層は20代から60代と厚く、職員数も多い。ご利用者への対応も幅広くできている。